

題名：唾液腺腫瘍診断の進め方 ―免疫組織化学的検索を中心に―

氏名：矢田 直美

所属：九州歯科大学健康増進学講座口腔病態病理学分野



Title : Pathologically diagnostic process of the salivary gland tumors, focusing on immunohistochemistry.

Name : Naomi Yada

Affiliation : Division of Oral Pathology, Department of Health Promotion, Kyushu Dental University

略歴

平成11年3月 長崎大学歯学部歯学科 卒業
平成11年4月 大分医科大学（現在大分大学医学部）歯科口腔外科医員(研修医)
平成16年6月 大分大学医学部大学院博士課程 卒業
平成16年7月 大分大学医学部歯科口腔外科医員
平成18年4月 大分大学医学部附属病院検査部(病理部)医員
平成20年4月 大分大学医学部診断病理学講座助教
平成24年4月 九州歯科大学健康増進学講座口腔病態病理学分野 助教
平成27年1月 同大学 准教授

現在に至る

資格 口腔病理専門医，細胞診専門歯科医

唾液腺腫瘍は組織型が多く，その中でも多彩な像を呈するため，病理診断に苦慮する。診断を行っていく上で，最初に筋上皮系腫瘍か否かで振り分け診断を進めていくことがほとんどである。その際，筋上皮系マーカーを中心に免疫染色を行っていく。近年多くの免疫染色のマーカーがあり，選択に迷うこともある。免疫染色マーカーを理解することは，診断に直結することが多い。

本セミナーでは，唾液腺腫瘍の概説を行い，実際の症例を用いて，生検および手術検体で，腫瘍を診断する上での注意事項と特に免疫染色マーカーを利用した診断の進め方について言及させていただく。

*セミナーでは，組織標本を事前に配布し，解説予定である。